

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成18年7月7日	使用開始日	
登録診療科	泌尿器科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 年 月
レジメン名	MVAC(シスプラチン)		
疾患名	尿路上皮がん	適応の備考	
適応分類	進行・再発、術後補助、術前		
1コース日数	28 日間	総コース数	2-4 コース 催吐性リスク day1.15.22:軽度、day2:高度
抗がん剤投与量・投与日	メトレキセート30mg/m <sup>2</sup> day1.15.22、エクザール3mg/m <sup>2</sup> day2.15.22、ドキシソルピシン30mg/m <sup>2</sup> day2、シスプラチン70mg/m <sup>2</sup> day2		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
1	点滴静注	生食50mL	1 本 / body		●															●													
		デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																●												
2	点滴静注	生食100mL	1 本 / body		●															●													
		メトレキセート注	30 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●																●												
3	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間	●																												
4	点滴静注	生食250mL	1 本 / body		●																												
		プロイメント注150mg	1 本 / body	30 分	●																												
5	点滴静注	アロキシン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																												
		デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																												
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																												
6	点滴静注	生食100mL	1 本 / body		●															●													
		エクザール注	3 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●																●												
7	点滴静注	生食100mL	1 本 / body		●																												
		ドキシソルピシン注	30 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●																												
8	点滴静注	生食500mL	1 本 / body		●																												
		シスプラチン注	70 mg / m <sup>2</sup>	2 時間	●																												
9	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間	●																												
10	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●															●													
11	点滴静注	生食100mL	1 本 / body		●																												
		デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																												
12	点滴静注	生食100mL	1 本 / body						●	●																							
		デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分					●	●																							

【投与上の注意】

- ・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・プロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・day4以降のデキサメタゾンは増量が必要(day2.3を減量しているため)。
- ・プロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ・シスプラチン：希釈は生食のみ。
- ・シスプラチン：腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ・シスプラチン：適宜、利尿剤を投与
- ・ドキシソルピシンの総投与量は500mg/m<sup>2</sup>まで。